

講習会	開催日	開催地・実施委員長
第125回細胞検査士養成講習会	2016年7月4-16日	東京医学技術専門学校：東海大学医学部・伊藤 仁
第41回細胞診断学セミナー	2016年8月4-7日	東京医学技術専門学校・教育委員長
第71回細胞検査士教育セミナー	2016年8月27-28日	日本教育会館：片山 博徳
第72回細胞検査士教育セミナー	2016年9月10-11日	松下IMPホール：矢羽田 一信
第72回細胞検査士ワークショップ	2016年7月23-24日	札幌医科大学：田上 稔
第73回細胞検査士ワークショップ	2017年2月または3月の土日	会場未定：平田 哲士

2. 現在、セミナー・ワークショップの原価計算を行っており、その結果、適正な受講料案が事務局より提出される予定である。

〔審議事項〕

1. 資料に沿って、ワークショップ・セミナー開催の際に「細胞診ガイドライン」に則った教育願いの文章を実施委員長に送ることが提案され、承認された。

渉外・広報委員会（委員長 加来 恒壽）

〔報告事項〕

1. 医療関連サービス振興会（本委員会の委員長は振興会の副委員長）の年2回の会議に出席し、全国の検査施設の病理組織診・細胞診が欠陥無く行われているかをチェックした。
2. 日本がん治療認定医機構の関連学会連絡委員会に出席し、学会として求められた対応を行うとともに情報の収集・共有に努めた。
3. 日本臨床検査標準協議会に出席し、学会として求められた対応を行うとともに情報の収集・共有に努めた。
4. 衛生検査所調査指導中央委員会に出席し、学会として求められた対応を行うとともに情報の収集・共有に努めた。

〔審議事項〕

1. 会員へ一斉メール送信する広報システムについて  
施設認定・評議員の申請・学会賞の応募等の重要な申請事項、ホームページに up-to-date された情報、日本臨床細胞学会雑誌の発刊については加来委員長を通じて会員に一斉メール送信すること、メールにはお知らせの詳細がみられる URL を添付して送信することが提案され、承認された。

## 社会保険委員会（委員長 稲山 嘉明）

### 〔報告事項〕

1. 平成 28 年度診療報酬改正の総括
  - \*セルブロック法が N004 細胞診の項目に掲載された(860 点). ただし, 悪性中皮腫を疑う場合に限定されている.
  - \*細胞診として扱われているので, 現状ではこれを用いた免疫染色は不可と思われる.
2. 平成 30 年度改正にむけた要望の検討に入る. 具体的には, 委員会開催, メール審議, 必要に応じてアンケート調査, 関連学会等との話し合い, 内保連出席など.

### 〔審議事項〕

稲山委員長より, 2 年後の診療報酬の改定に向けての意見を半年以内に頂きたいとの呼びかけがあった.

## 地域連絡委員会（委員長 広岡 保明）

### 〔報告事項〕

1. 全国地域組織一覧
2. 平成 26 年度 地域連携組織の活動調査報告
  - 1) 連合地域連携組織 活動報告
  - 2) 都道府県地域連携組織 活動報告
3. 平成 26 年度 細胞診検体に関するアンケート（定点観測）集計結果
4. 子宮頸がん検診推進活動支援
  - 1) 平成 27 年度子宮頸がん検診推進活動  
全国 39 都道府県で実施され, 学会からの助成金, 送金手数料, 送料など合計約 286 万円が各都道府県地域連携組織に送金された. この成果報告はイエローページに掲載する.
  - 2) 平成 28 年度は全国 43 都道府県より申請が出された. 助成金は 5 万円を上限とする.

### 〔審議事項〕

1. 細胞診検体定点観測事業についての今後の方針  
平成 26 年度 細胞診検体に関するアンケート（定点観測）の集計結果より, あまり活用されていないことが報告され, 定点観測を一旦終了し, これまでの結果からその意義等について論文化することが提案され, 承認された.
2. 熊本震災の義援金について  
広岡委員長より, 地域連携委員会および全国地域代表者会議にて各地域連携組織より熊本へ義援金を送ることが提案されたとの報告があり, 本学会にて義援金を一括して振り込み・送金するための口座開設が提案され, 承認された.

#### 国際交流委員会（委員長 森谷 卓也）

##### 〔報告事項〕

1. 日本-豪州の人事交流について検討中である。
2. 第15回日韓細胞診合同会議  
開催日：2016年10月29日(土)  
開催地：韓国・済州島(Jeju Hyatt Hotel)  
(2017年以降は毎年9月第1週金曜日・土曜日に開催することが決定している)

##### 〔審議事項〕

特になし

#### 制度審議委員会（委員長 川本 雅司）

##### 〔報告事項〕

1. 理事会, 総会承認に基づく定款, 細則改定の実施
2. 各委員会内規の把握とりまとめの実施

##### 〔審議事項〕

1. 日本臨床細胞学会細胞検査士会に関する施行細則の変更  
資料に沿って細胞検査士会に関する施行細則の変更案が提示され, 細則変更事案が理事会にて承認された。細胞検査士会に関しての承認については細胞検査士会総会時の承認事項とすることが決定した。
1. 川本制度審議委員より, 各委員会の内規を制度審議委員会に提出して欲しいとの呼びかけがあった。

#### 医療安全委員会（委員長 森井 英一）

##### 〔報告事項〕

1. 医療安全セミナーの開催  
第57回(2016年)春期大会および第55回秋期大会において医療安全セミナーを開催する。第57回総会では「臨床細胞検査等における医療安全について」を行う。
2. 第55回秋期大会では, 医療安全セミナーとともに, 医療安全の観点から特に重要な感染対策についてのセミナーも開催する。
3. MSCホットラインを継続する。利用実績が乏しいので周知を図るよう努力する。

##### 〔審議事項〕

特になし

#### 倫理委員会（委員長代理 池田 徳彦理事）

##### 〔報告事項〕

1. 第55回(2016年)秋期大会では, 倫理委員会指定セミナーとして, 大分大学倫理学講座

の今井浩光教授による講演を予定。

2. 日本医学会より5月11日に行われた「第2回研究倫理教育研修会」に倫理委員会、編集委員会、利益相反委員会の代表に出席依頼があり、倫理委員会委員長 河原栄と利益相反委員会委員長代理 宇津木久仁子が出席した。

〔審議事項〕

特になし

#### 利益相反委員会（委員長 藤井 多久磨）

〔報告事項〕

1. 日本医学会にて行われた「第2回研究倫理教育研修会」の研修内容の報告
2. COIの細則の改定に伴うQ&Aについて  
2016年3月に行われた平成27年度第4回理事会にてCOIに対するQ&Aを参考資料として提出し、確認して頂き、委員会内でも確認した。今後は、制度審議委員会 川本委員長に確認して頂き、その後、早急にホームページへ掲載する方向を考えている。
3. 利益相反委員会の内規について  
委員会内で新たに内規を作成した。これについても制度審議委員会 川本委員長に確認して頂く予定である。
4. 利益相反自己申告書の送付と未提出者報告  
現時点において未提出者は0名の見込みである。

〔審議事項〕

特になし

#### 臨床試験審査委員会（委員長 中村 直哉）

〔報告事項〕

1. 臨床試験審査を随時行っていく。
2. 倫理委員会および臨床試験審査委員会の外部委員に明治大学法学部 小西 知世准教授になって頂くことを選定中である。

〔審議事項〕

特になし

#### IAC連絡委員会（委員長 長村 義之）

〔報告事項〕

1. The 19th International Congress of Cytology(略称：ICC2016)開催前日、5月28日(土)12:00~17:00でIAC試験の実施。
2. ICC2016でのIACの式典、諸種プログラムなどの詳細の決定。
3. Executive Council 2016-2019がICC2016の終了とともに職務を開始する。

Acta Cytologica の投稿数増加・2017 年の IF 奪還, IAC 試験の実施, Tutorial の推進, Education material の充実など課題が多数. JSCC の会員の方々のご支援をお願いしたい.

〔審議事項〕

青木理事長より, IAC 連絡委員会 渉外担当の広岡保明理事を JSCC と IAC との仲介役として国際交流会委員会の委員に加入してもらうことが提案され, 承認された.

#### 第 19 回 IAC 国際細胞学会準備委員会 (委員長 青木 大輔)

〔報告事項〕

1. 今回の理事会をもって本委員会は終了することが報告された.

〔審議事項〕

特になし

#### 泌尿器細胞診新報告様式解説書刊行ワーキンググループ (委員長 白石 泰三)

〔報告事項〕

1. 泌尿器細胞診の新報告様式の解説書は, 第 57 回日本臨床細胞学会学術集会で会員に配布予定である. 受け取れなかった会員のために, ホームページに解説書の PDF をアップロードした.
2. 解説書発刊について  
5 月 30 日(月)の午前中に委員会を開催し, 協議する. その結果は, 次回の理事会にて報告する.

〔審議事項〕

特になし

#### 臨床試験ワーキンググループ (委員長代理 青木 大輔理事長)

〔報告事項〕

1. 「一般住民を対象とした子宮頸がん検診における液状化検体細胞診と HPV DNA 検査との併用法の有用性を評価する前向き無作為化比較研究 (CITRUS study)」  
(山梨県, 千葉県柏市)

〔進捗状況〕

最終登録数は 18,471 例 (山梨県 12,192 例, 柏市 6,279 例) であった. 今後, 追跡調査を継続する.

2. 「子宮頸癌疑い患者及び検診受診者を対象とした LC-1000 の有用性に関する臨床試験」  
目的: 要精密検査目的で来院した子宮頸癌疑い患者, 及び検診受診者を対象とし, LC-1000 (剥離細胞分析装置: 一般医療機器 シスメックス社製) により算出された CPIx (Cell Proliferation Index) に基づく定性判定の有用性を, HPV 検査と比較するこ

とにより検証する。中間報告会を 2016 年 2 月 20 日に行った。

〔試験予定期間及び目標症例数〕

- ・試験予定期間：2015 年 6 月～2017 年 3 月(終了予定)
- ・目標予定症例数：要精密検査対象者：約 450 例，検診受診者：約 480 例

〔進捗状況〕

- ・現在の進捗：要精密検査対象者：合計 476 例

〔審議事項〕

特になし

#### 細胞診用語解説集作成ワーキンググループ (委員長 竹島 信宏)

〔報告事項〕

1. 電子媒体での用語解説集の作成を目指している。
2. 用語解説の統一した原案の作成完了。作成した細胞診用語解説集は、学術委員会および理事全員の閲覧・修正が終了。情報処理委員会にお願いし、ダウンロード可能な形式にしてホームページ上に掲載予定。今回にてワーキンググループは終了とする。今後の改訂については、学術委員会にて発案を一任する。

〔審議事項〕

特になし

#### 細胞診専門医制度改革推進ワーキンググループ (委員長 植田 政嗣)

〔報告事項〕

1. 細胞診専門医制度の今後の方向性について通信委員会等で討議
2. 日本専門医機構のヒアリング参加
3. 新しい細胞診専門医制度の運用面も含めて細胞診専門医あり方委員会，細胞診専門医委員会，施設認定制度委員会と協力して施行細則整備
4. 平成 28 年度教育研修指導医申請と認定作業

(これまでの経緯)

第 1 回審査会結果(2014 年 12 月)・・・認定 263 名，暫定 113 名

上記「暫定」の内，2015 年秋の細胞診専門医セミナーに参加し認定に移行した方 77 名

第 2 回審査会結果(2015 年 2 月)・・・認定 154 名，暫定 98 名

上記「暫定」の内，2015 年秋の細胞診専門医セミナーに参加し認定に移行した方 50 名

現時点では認定 544 名，暫定 84 名

〔審議事項〕

特になし

## 肺がん学会とのワーキンググループ（委員長代理 池田 徳彦理事）

### 〔報告事項〕

1. 喀痰細胞診に関する地域・施設・検鏡者による診断率の差に関する研究をしていく。
2. 標準的な細胞像のアトラスを作成しホームページ掲載の可能性を検討する。
3. 肺癌学会との共同で行った検討・研究が終了し、その成果を土屋眞一 細胞診専門医会会長のご高配により、細胞診専門医会にて東北大学病院 遠藤千頭先生が報告する予定である。
4. 毎年、喀痰の精度管理について東北にてセミナーを行っている。このセミナーを本学会の事業として行う方向性がワーキンググループ内で提案されたとの報告があった。

### 〔審議事項〕

特になし

## 教育研修に関わるガイドライン検討ワーキンググループ（委員長 杉山 裕子）

### 〔報告事項〕

1. 第57回日本臨床細胞学会総会(春期大会)中に第1回教育研修に関わるガイドライン検討ワーキンググループ会議を実施。
2. 基盤となる各種セミナーのテキストや研修手帳、細胞診ガイドラインなどの内容の符号性の改善の実施。

### 〔審議事項〕

特になし

## 9. 審議事項および議決結果

### 1) 平成29・30年度評議員選出について

2016年5月7日に評議員選出委員会が開かれ、評議員候補者の選出を行った。本年度4月1日時点の正会員数は5692名であり、施行細則第3章第5条に則り、その8%を超えない、上位455名が評議員候補者として選出され、全候補者が評議員として承認された。

### 2) 第57回平成30年(2018年)秋期大会長選出について

中村直哉理事が推薦され、全員一致で承認された。

### 3) 会員資格喪失者の会員資格復帰について

会員資格の復帰希望者が4名おり、いずれも免許停止前の滞納年会費の完払と理事長の承諾という内規上の基準をみたしており、希望者全員の会員資格復帰が承認された。

### 4) その他

長村監事より、日本臨床細胞学会における細胞検査士の今後の活躍の延長線上に、総会の運営をする可能性も検討して欲しいとの要望があった。

閉会の挨拶：紀川 純三 副理事長

以上を以って本理事会の議題が終了し、平成 28 年度第 2 回理事会を終了した。


平成 28 年 10 月 24 日

この議事録が正確であることを証します。

理事長

青木 大輔 

監事

長谷川 壽彦 

監事

長村 美之 

監事

佐々木 寛 